令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　392

事務事業名称		NPO活動支援事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　市長公室		課:　市民活動課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します				性質	住民自治・地域社会	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2007(H19)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市事務決裁規程						
	関係附属機関等	枚方市NPO活動応援基金支援審査会						
	関係補助金等	NPO活動応援基金補助事業補助金　補助金性質:　事業費補助						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	市民やNPO、市民団体等の市民活動が活性化される。						
	対象者(受益者)	市内で活動する市民やNPOの市民活動団体/市内で活動する市民やNPOの市民活動団体の活動を受けて、生活の利便性などが向上する市民						
	現状・課題	市民やNPO・市民団体等の連携、市民活動の情報収集・発信、市民活動の担い手及び市民活動の資金が不足している。						
	事業の概要	1. NPOサポート事業 市民やNPO、市民団体等の市民活動の活性化を促進するため、サプリ村野を拠点に市民活動の情報を収集・発信し、相互の情報交換や人材育成を図る。 2. NPO活動応援基金補助事業 市民・法人等からの寄付金の受け皿となる枚方市NPO活動応援基金を原資として、市内のNPO法人へ補助金を交付することにより自主的な市民活動の推進を図る。						
	年間の主な事務	1. NPOサポート事業 ・春休み・夏休みボランティア体験事業に係る関係団体の調整 ・ひらせんナビ発行(毎月) ・サプリ村野学校実施(毎月) ・市民活動やNPOを対象とした各種講座、講習会等の開催 2. NPO活動応援基金補助事業 ・補助金交付決定団体に対する補助金の交付決定及び交付確定 ・市内のNPO法人へNPO活動応援基金補助事業への登録団体案内送付(例年6月) ・NPO活動応援基金支援審査会の開催(例年3回開催)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.78人	0.80人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	6.00人	6.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	5,997	6,567	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	152	152	—	—		
歳出 人件費計	6,149	6,719	—	—		
歳出 物件費計	18,290	18,022	—	—	24,405	73.8%
歳出計	24,439	24,741	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	2,586	2,568	—	—	8,945	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	2,586	2,568	—	—	8,945	
一般財源(物件費充当分のみ)	15,704	15,454	—	—	15,460	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ひらかた市民活動支援センター及びサプリ村野NPOセンター登録団体数	団体	356 団体	340 団体	— 団体	— 団体
② NPO活動応援基金補助事業への登録団体数	団体	7 団体	6 団体	— 団体	— 団体

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

アウトプット（活動が産み出した結果）

ロジックモデル

アウトプット①

説明：市民やNPO、市民団体相互の情報交換や人材育成が図られる。

指標：サプリ村野学校の開催団体数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	20	20	20	20	団体
実績	20	19	—	—	団体

算出方法：—

ロジックモデル

アウトプット②

説明：市内のNPO法人に対して補助金を交付する。

指標：NPO活動応援基金補助事業への申請団体数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	10	10	10	10	団体
実績	6	6	—	—	団体

算出方法：—

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：市民やNPO、市民団体等の市民活動が活性化される。

指標：市民やNPO、市民団体等の市民活動の拠点であるサプリ村野の利用率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	60	60	60	60	%
実績	49.6	48.9	—	—	%

算出方法：利用時間枠数/利用可能時間枠数×100

アウトカム②

説明：市民やNPO、市民団体等の市民活動が活性化される。

指標：市民やNPO、市民団体等の市民活動の拠点であるサプリ村野の利用率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	60	60	60	60	%
実績	49.6	48.9	—	—	%

算出方法：利用時間枠数/利用可能時間枠数×100

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

NPOサポート事業の実施や補助金を交付することにより、市民やNPO、市民団体等による市民活動の活性化を図る。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	NPO活動応援基金補助事業への申請団体数及び市民活動の拠点であるサプリ村野NPOセンターの利用率については目標値を下回ったが、サプリ村野学校の開催団体数については目標値を達成した。
R7年度	NPO活動応援基金補助事業への申請団体数及び市民活動の拠点であるサプリ村野NPOセンターの利用率、サプリ村野学校の開催団体数については目標値を下回った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	NPO法人をはじめとする市民活動団体の中間支援組織であるひらかた市民活動支援センターと連携し、NPOの活動支援を継続して取り組むとともに、市民活動の活性化を推進する。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　394

事務事業名称		コミュニティ活動事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　市長公室		課:　市民活動課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します				性質	住民自治・地域社会	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1990(H2)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	①�方市校区コミュニティ活動補助金交付要綱　②�方市地域づくりデザイン事業補助金交付要綱						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	1.�方市校区コミュニティ活動補助金(1990(H2)年度～) 2.�方市地域づくりデザイン事業補助金(2007(H19)年度～)　　補助金性質:　事業費補助						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	校区コミュニティ協議会の主体的な活動により、安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進が図られている状態。						
	対象者(受益者)	各校区コミュニティ協議会/各校区の住民						
	現状・課題	各校区コミュニティ協議会における主体的な活動の活性化を図るため、取り組みを支援する。						
	事業の概要	①校区コミュニティ活動補助金:地域の特色を生かした弾力的な運用が可能な基礎額(均等割額及び人口割額)と使途を限定した特別事業(青色防犯パトロール活動補助金)の二段構成となっている補助金。 ②地域づくりデザイン事業補助金:地域住民が様々な地域づくりのアイデアを出し合い、校区コミュニティ協議会がその実現に向けて主体的かつ持続的に行う活動に対して支援を行う補助制度。						
	年間の主な事務	①交付申請手続き等に係る書類審査(例年4～5月) 枚方市ホームページの更新作業 補助金に関する窓口・電話対応 実績報告手続きに係る書類審査 ②交付申請手続き等に係る書類審査(例年4～5月) 枚方市ホームページの更新作業 補助金に関する窓口・電話対応 実績報告手続きに係る書類審査						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.50人	1.50人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.01人	0.01人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	11,532	12,314	—	—		
		会計年度任用職員	21	26	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		11,553	12,340	—	—		
	物件費計		56,055	52,851	—	—	52,903	99.9%
歳出計			67,608	65,191	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			56,055	52,851	—	—	52,903	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 校区コミュニティ活動補助金交付により、コミュニティ活動の支援を行った校区数	校区	44 校区	44 校区	— 校区	— 校区
② 地域づくりデザイン事業補助金交付により、コミュニティ活動の支援を行った校区数	校区	3 校区	0 校区	— 校区	— 校区

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

アウトプット（活動が産み出した結果）

ロジックモデル

アウトプット①

説明：校区コミュニティ協議会の主体的な活動が実施される。

指標：校区コミュニティ活動補助金を活用してコミュニティ活動を実施した校区数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	44	44	44	44	校区
実績	44	44	—	—	校区
算出方法	—				

ロジックモデル

アウトプット②

説明：地域づくりデザイン事業を実施する。

指標：地域づくりデザイン事業を実施した校区数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	4	4	4	4	校区
実績	3	0	—	—	校区
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：校区コミュニティ協議会の安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進が図られる。

指標：さらなる地域活動の活性化が図られた校区数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	44	44	44	44	校区
実績	44	44	—	—	校区
算出方法	—				

アウトカム②

説明：校区コミュニティ協議会の安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進が図られる。

指標：さらなる地域活動の活性化が図られた校区数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	44	44	44	44	校区
実績	44	44	—	—	校区
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

補助金を交付することにより、校区コミュニティ協議会が行う安全・安心のまちづくりに向けた活動に対する支援を行い、さらなる地域活動の活性化を図る。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	校区コミュニティ活動補助金および地域づくりデザイン事業補助金を交付することにより、各校区コミュニティ協議会における活動の活性化が図られた。
R7年度	校区コミュニティ活動補助金を交付することにより、各校区コミュニティ協議会における活動の活性化が図られた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	補助金を交付することにより、校区コミュニティ協議会が行う安全・安心のまちづくりに向けた活動に対する支援を行う。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
		現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　404

事務事業名称		自治会館建設等支援事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　市長公室		課:　市民活動課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します				性質	住民自治・地域社会	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1970(S45)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	自治会館建設等助成金交付規則						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	自治会館建設等助成金　補助金性質:　事業費補助						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	自治会活動の拠点である自治会館の整備が促進され、自治会活動の活性化が図られている状態。						
	対象者(受益者)	自治会/自治会活動を行う自治会員をはじめ、自治会館を使用される地域住民等						
	現状・課題	自治会活動の拠点である自治会館の整備						
	事業の概要	住民による安全・安心のまちづくりや、住民同士の連携など、住民自治の振興を図ることを目的として、地域活動の拠点であり、住民の連携を促進するために重要な役割を果たす自治会館の建設等を行う際、自治会館建設等助成金を交付している。						
	年間の主な事務	・自治会へ自治会館建設等助成金の制度案内の通知 ・自治会館建設等助成金を活用予定の自治会との事前協議 ・自治会から提出される自治会館建設等助成金申請書類の審査 ・自治会への自治会館建設等助成金の交付決定 ・自治会から事業着手報告、事業完了報告、事業実績報告の受理 ・自治会への自治会館建設等助成金の交付確定						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.30人	1.30人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	9,994	10,672	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		9,994	10,672	—	—		
	物件費計		14,836	19,550	—	—	24,758	79.0%
歳出計			24,830	30,222	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		5	8	—	—	5	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			5	8	—	—	5	
一般財源(物件費充当分のみ)			14,831	19,542	—	—	24,753	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 自治会館建設等助成金の交付により、自治会館の整備等を支援した自治会の数	件	8 件	11 件	— 件	— 件

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	自治会館の新築・建替えや、改修等が実施される。
指標	整備等を行った自治会館の数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	10	10	10	10	件
実績	8	10	—	—	件
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	自治会活動の拠点である自治会館の整備等が促進され、自治会活動の活性化が図られる。
指標	活動の拠点となる自治会館の整備等により地域活動の活性化が図られた自治会の数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	12	12	12	12	件
実績	8	11	—	—	件
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

助成制度の活用を促進することで、さらなる自治会活動の活性化を図る。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	自治会館の整備に対する支援により、自治会活動の拠点である自治会館の整備が促進され、自治会活動の活性化が図られた。
R7年度	自治会館の整備に対する支援により、地域活動の拠点の整備が促進され、自治会活動の活性化が図られた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	自治会館建設等助成制度について、自治会への制度の周知を引き続き行うとともに、自治会館の改修助成の対象拡大や耐震改修助成の増額のほか、AED購入助成の創設など、自治会のニーズに沿った制度改正を行い、その活用を促進することで、さらなる自治会活動の活性化を図っていく。	R8年度方向性	**拡充**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**拡充**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　700

事務事業名称		市民憲章普及啓発事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　市長公室		課:　市民活動課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます				性質	住民自治・地域社会	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1971(S46)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市事務決裁規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	市民憲章が広く市民に普及し、市民憲章に掲げる市民道徳、生活規範が確立されている状態。						
	対象者(受益者)	全市民						
	現状・課題	市民憲章の普及啓発の実施。						
	事業の概要	・本市市民憲章の普及啓発のための各種啓発活動 ・市内25か所に設置されている憲章板・碑の管理 ・枚方市民憲章を推進する会の運営委員会の開催への協力 ※枚方市民憲章を推進する会は、市民団体をはじめとする各種団体から選出されたメンバーで構成される団体で、市の実施する市民憲章の普及啓発に対し、市民の立場から提言し、協力、連携を図っている。						
	年間の主な事務	市ホームページに活動内容を掲載 枚方市民憲章を推進する会　運営委員会の推薦依頼・運営委員の決定(例年4月～5月) 枚方市民憲章を推進する会　運営委員会開催(例年9月～10月) 市民憲章の認知度などに関するスマホアンケートを実施(例年2月) 枚方市役所窓口での啓発(市民憲章ティッシュ設置)(通年) 枚方市役所発行冊子等へ市民憲章を掲載						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.19人	0.20人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	1,461	1,642	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	1,461	1,642	—	—		
歳出 物件費計	5	14	—	—	17	82.4%
歳出計	1,466	1,656	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	5	14	—	—	17	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① イベント等による啓発回数	回	8 回	10 回	― 回	― 回

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明：市民憲章を知っている市民が増える。

指標：市民憲章の掲載媒体数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	7	7	7	7	個
実績	7	7	―	―	個

算出方法：―

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：市民憲章が広く市民に普及し、市民憲章に掲げる市民道徳、生活規範が確立されている。

指標：市民憲章の認知度

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	50	50	50	50	%
実績	49.8	48.9	―	―	%

算出方法：スマホアンケートにおいて「市民憲章を知っている」と回答した者の数／スマホアンケートの有効回答者数×100

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

市民憲章の普及啓発の実施により、市民憲章の認知度の向上を図る。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市民活動課窓口で啓発用ポケットティッシュを配布、市ホームページや関係部署が発行する冊子への市民憲章の掲載等による啓発活動を実施し、市民憲章の認知度の向上を図った。
R7年度	市ホームページや関係部署が発行する冊子への市民憲章の掲載等による啓発活動を行うとともに、市民活動課窓口に加え、校区代表者会議やNPOフェスタにおいても啓発用ポケットティッシュの配布を行い、市民憲章の認知度の向上を図った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	啓発ティッシュの配布や市ホームページ・関係部署が発行する冊子への市民憲章の掲載等を行うことにより、効果的に啓発活動を実施する。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　711

事務事業名称		コミュニティ連絡協議会運営事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　市長公室		課:　市民活動課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します				性質	住民自治・地域社会	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1997(H9)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市事務決裁規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	枚方市コミュニティ連絡協議会の運営をより円滑に行うことで、市内における共通の地域課題の共有化を図るとともに、地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりが推進されている状態。						
	対象者(受益者)	枚方市コミュニティ連絡協議会/枚方市コミュニティ連絡協議会に参画する各校区コミュニティ協議会						
	現状・課題	枚方市コミュニティ連絡協議会の運営をより円滑に行うため、その運営を支援する。						
	事業の概要	「安全・安心で魅力ある地域づくり」を推進することを目的として、市内の校区コミュニティ協議会で組織された枚方市コミュニティ連絡協議会の事務を市民活動課で行い、その運営に対し支援を行っている。 また、行政からの依頼やお知らせについて、取りまとめのうえ、枚方市コミュニティ連絡協議会を通じて校区コミュニティ協議会へ送付している。						
	年間の主な事務	・枚方市コミュニティ連絡協議会において実施される総会(年1回)・役員会(年5回)・校区代表者会議(年4回)・ブロック会議(適宜)の準備・調整 ・枚方市コミュニティ連絡協議会から各校区コミュニティ協議会への行政の依頼やお知らせの発送支援(毎月) ・枚方市コミュニティ連絡協議会から各校区コミュニティ協議会へのLINEWORKS送信支援(毎月) ・コミュニティ・自治会運営の支援相談対応 ・コミュニティ・自治会運営ハンドブックの改訂編集						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.50人	1.50人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.01人	0.01人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	11,532	12,314	—	—		
		会計年度任用職員	21	26	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		11,553	12,340	—	—		
	物件費計		303	351	—	—	380	92.4%
歳出計			11,856	12,691	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			303	351	—	—	380	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 支援の対象団体数(枚方市コミュニティ連絡協議会及び各校区コミュニティ協議会)	団体	45 団体	45 団体	— 団体	— 団体
② 枚方市コミュニティ連絡協議会を通じて、校区コミュニティ協議会へ行政の依頼やお知らせを送付した回数	回	12 回	11 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル アウトプット①

説明: 校区コミュニティ協議会の自主的な活動や地域の活性化に資する活動が実施される。

指標: 枚方市コミュニティ連絡協議会会議の開催回数(総会・役員会・校区代表者会議・ブロック会議)

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	20	20	20	20	回
実績	20	20	—	—	回
算出方法	—				

ロジックモデル アウトプット②

説明: 校区コミュニティ協議会やその参画団体が行政等からの情報を共有する。

指標: 校区コミュニティ協議会やその参画団体が、枚方市コミュニティ連絡協議会を通じて行政からの情報提供を受けた回数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	12	12	12	12	回
実績	12	11	—	—	回
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりが推進される。

指標: 地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりの推進のため活動を実施した団体数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	45	45	45	45	団体
実績	45	45	—	—	団体
算出方法	—				

アウトカム②

説明: 地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりが推進される。

指標: 地域住民の連携、安全・安心で魅力ある地域づくりの推進のため活動を実施した団体数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	45	45	45	45	団体
実績	45	45	—	—	団体
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

枚方市コミュニティ連絡協議会の運営を支援していくとともに、地域活動の活性化に向け、同協議会と連携し取り組んでいくことで、さらなる地域活動の活性化を図る。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	・枚方市コミュニティ連絡協議会では、年20回の会議(総会1回、役員会5回、校区代表者会議4回、ブロック会議10回)が開催され、各団体間での情報・意見交換が行われた。 ・行政からの依頼やお知らせを、同協議会を通じて校区コミュニティ協議会やその参画団体に送付(12回)することで、行政の情報を地域に共有をすることができた。 ・同協議会において、地域活動活性化の推進及び地域における情報共有のICT化の推進を目標に掲げ、本市と連携し取り組んだ。
R7年度	・枚方市コミュニティ連絡協議会では、年20回の会議(総会1回、役員会5回、校区代表者会議4回、ブロック会議10回)が開催され、各団体間での情報・意見交換が行われた。 ・行政からの依頼やお知らせを、同協議会を通じて校区コミュニティ協議会やその参画団体に送付(11回)することで、行政の情報を地域に共有することができた。 ・同協議会において、地域活動活性化の推進及び地域における情報共有のICT化の推進を目標に掲げ、本市と連携し取り組んだ。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	枚方市コミュニティ連絡協議会の運営を支援していくとともに、地域活動の活性化に向け、同協議会と連携し取り組んでいく。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　712

事務事業名称		サプリ村野NPOセンター施設維持管理事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　市長公室		課:　市民活動課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します				性質	住民自治・地域社会	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2013(H25)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市立サプリ村野NPOセンター条例、枚方市立サプリ村野NPOセンター条例施行規則						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	サプリ村野NPOセンターを利用するNPOその他の市民団体が施設を安心して安全快適に利用でき、市民活動の場が充実している状態。						
	対象者(受益者)	NPOその他の市民団体でサプリ村野NPOセンターを利用する利用者						
	現状・課題	NPOその他の市民団体の活動の場の提供が必要である。サプリ村野NPOセンターを利用するNPOその他の市民団体が、安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。						
	事業の概要	【施設概要】 所在地:村野西町5ー1 開設年月日:平成25年4月1日 建物面積:951.2㎡ 建物構造:鉄筋コンクリート造　3階建 元村野小学校の耐震化やバリアフリー化などの工事を実施し、施設の一部をNPOその他の市民団体の活動の場として提供し、市民団体の主体的な活動を支援するため、「サプリ村野NPOセンター」として、平成25年4月にリニューアルオープンした。サプリ村野NPOセンターの施設は、一時利用室(7室)、長期利用室(7室)、貸しロッカー等を備えており、施設利用に係る窓口業務等を特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターに委託している。						
	年間の主な事務	・団体登録受付(通年) ・ロッカー使用許可(通年) ・長期利用室使用団体の新規募集および更新(随時)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.39人	0.40人	—	—
再任用	0.30人	0.30人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	4,596	4,874	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		4,596	4,874	—	—		
	物件費計		11,666	11,812	—	—	12,811	92.2%
歳出計			16,262	16,686	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		4,949	4,962	—	—	5,282	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			4,949	4,962	—	—	5,282	
一般財源(物件費充当分のみ)			6,717	6,850	—	—	7,529	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 必要な保守点検の実施回数	回	33 回	33 回	― 回	― 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: サプリ村野NPOセンターが適正に維持管理され、市民活動が活性化される。

指標: 施設の修繕件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	0	0	0	0	件
実績	0	0	―	―	件

算出方法: ―

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: ―

指標: ―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	―	―	―	―	―
実績	―		―	―	―

算出方法: ―

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

安全で快適な施設を維持し、市民活動の場の充実を図る。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	適切に施設の保守点検を実施した。また、一時利用室の空調に不具合が発生した際には保守事業者と連携し迅速に対処した。
R7年度	適切に施設の保守点検を実施した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	サプリ村野NPOセンターを利用するNPOその他の市民団体が施設を安全快適に利用できるように、施設の維持管理を行い、安心して使用できる市民活動の場の提供を行う。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　713

事務事業名称		ボランティア表彰事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　市長公室		課:　市民活動課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します				性質	住民自治・地域社会	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1995(H7)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市ボランティア表彰要綱						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	ボランティア活動の促進						
	対象者(受益者)	次の要件のいずれにも該当する個人又は団体とする。 (1)社会に貢献すると認められるボランティア活動を5年以上行っていること。 (2)ボランティア活動を市内において行い、その功績が顕著で他のものの模範となっていると認められること。						
	現状・課題	ボランティア活動を行い、社会に貢献している個人又は団体に対して表彰という形で労をねぎらっている。						
	事業の概要	ボランティア活動を行っている団体や個人の労をねぎらい、市内におけるボランティア活動を促進するために市長表彰を行う。						
	年間の主な事務	・被表彰者の推薦受付(例年10月) ・被表彰者の決定(例年12月) ・表彰式に関する案内(例年12月～1月) ・表彰式開催(例年1月)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.19人	0.20人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.01人	0.01人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	1,461	1,642	—	—		
		会計年度任用職員	21	26	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		1,482	1,668	—	—		
	物件費計		78	121	—	—	147	82.3%
歳出計			1,560	1,789	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			78	121	—	—	147	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 推薦依頼対象数	件	3 件	3 件	— 件	— 件

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明：推薦があった個人及び団体を審査し、表彰する。

指標：被表彰者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	50	50	50	50	件
実績	25	56	—	—	件
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：広く社会一般にボランティア精神の浸透が図られ、市民によるボランティア活動が促進する。

指標：市が関わるボランティア参加事業の活動者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	1,500	1,500	1,500	1,500	件
実績	1,250	1,732	—	—	件
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

市長表彰を行うことで、広く社会一般にボランティア精神の浸透が図られ、市民によるボランティア活動への参加、促進を図る。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	被表彰者数は目標値に及ばなかったが、市が関わるボランティア参加事業の活動者数は概ね目標値を達成した。
R7年度	被表彰者数及び市が関わるボランティア参加事業の活動者数はともに目標値を達成した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	ボランティア活動を通じて社会貢献をしている個人・団体に対しての表彰を引き続き行う。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　714

事務事業名称		市民公益活動補償保険事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　市長公室		課:　市民活動課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します				性質	住民自治・地域社会	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1984(S59)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市事務決裁規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	市民団体等が安心して市民活動を実施することができる。						
	対象者(受益者)	公益活動を行う校区コミュニティ協議会、自治会(それらの参画団体及び枚方市コミュニティ連絡協議会を含む)及びその他市内に活動拠点のある5人以上の市民等(市内在学・在勤の人を含む)で構成された団体						
	現状・課題	市民団体等が公益活動を行う上で、ケガ等のリスクがある。						
	事業の概要	校区コミュニティ協議会、自治会(それらの参画団体及び枚方市コミュニティ連絡協議会を含む)及び市民団体の日本国内における日帰りの公益活動(子ども防災キャンプについては宿泊を伴う活動も含む)時に発生した損害賠償責任事故及び傷害事故について補償する市民公益活動補償保険の団体登録、事故発生時の受付及び保険会社への報告を行う。						
	年間の主な事務	・自治会等代表者報告書兼市民公益活動補償保険登録申込書の受付(例年3月後半～4月) ・事故受付(随時) ・次年度の入札・契約事務 ・次年度の自治会等代表者報告書兼市民公益活動補償保険登録申込書の提出依頼(例年3月前半)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.39人	0.40人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.07人	0.06人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	2,998	3,284	—	—		
		会計年度任用職員	147	153	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		3,145	3,437	—	—		
	物件費計		954	1,667	—	—	3,162	52.7%
歳出計			4,099	5,104	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			954	1,667	—	—	3,162	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 「制度案内」設置施設数	か所	17 か所	21 か所	— か所	— か所

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 市民公益活動補償保険制度が広く知られる。

指標: 「制度案内」配布数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	360	360	360	360	枚
実績	360	440	—	—	枚
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 市民団体等が安心して市民活動を実施することができる。

指標: 登録団体数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	750	750	750	750	団体
実績	703	707	—	—	団体
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

市民公益活動補償保険制度の活用により、市民団体等が安心して市民活動を実施できる。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	登録された市民団体等が安心して市民活動を実施することができた。
R7年度	登録された市民団体等が安心して市民活動を実施することができた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	市民団体等が安心して市民活動ができるように引き続き事業を実施する。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　716

事務事業名称		自治会掲示板交付事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　市長公室		課:　市民活動課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します				性質	住民自治・地域社会	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1987(S62)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	自治会掲示板の交付に関する要綱						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	地域広報が充実し、地域住民相互の交流や活動の促進が図られている状態。						
	対象者(受益者)	掲示板の交付申請を行う自治会/掲示板にある情報を閲覧される地域住民等						
	現状・課題	自治会における地域住民への情報提供の充実を図る。						
	事業の概要	「自治会掲示板の交付に関する要綱」に基づき、原則として1会計年度に1自治会1枚を交付するもの。						
	年間の主な事務	・掲示板交付申請書受付及び交付手続き(年平均30件)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.40人	0.40人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	3,075	3,284	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		3,075	3,284	—	—		
	物件費計		1,409	663	—	—	300	221.0%
歳出計			4,484	3,947	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			1,409	663	—	—	300	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 自治会掲示板の交付数	枚	21 枚	23 枚	— 枚	— 枚

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	地域広報が充実する。
指標	自治会掲示板が取り換えまたは新規設置された数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	30	30	30	30	枚
実績	21	23	—	—	枚
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	地域住民相互の交流や活動の促進が図られる。
指標	掲示板が配置されている自治会の割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	90	90	90	90	%
実績	88.8	88.6	—	—	%
算出方法	掲示板設置されている自治会数／自治会数				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

老朽化の進む掲示板の取り換えや新規掲示板の設置により、地域住民が受動的に情報を得やすくなる。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	希望する自治会に掲示板を交付することで情報提供の充実化につながり、地域住民相互の交流や活動の促進が図れた。
R7年度	希望する自治会に掲示板を交付することで情報提供の充実化につながり、地域住民相互の交流や活動の促進が図れた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	引き続き自治会掲示板を交付することにより、地域住民相互の交流や活動の促進を図る。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　717

事務事業名称		特定非営利活動法人設立認証等事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　市長公室		課:　市民活動課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します				性質	住民自治・地域社会	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　2012(H24)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	特定非営利活動促進法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	特定非営利活動法人の設立認証等を行うことにより、団体の運営が安定し、市民活動が活性化する。						
	対象者(受益者)	特定非営利活動法人の設立を目指す市民団体等及び市内の特定非営利活動法人						
	現状・課題	市民活動団体が安定した運営を行う。						
	事業の概要	法人の設立認証等に係る相談業務と特定非営利活動促進法に基づき、特定非営利活動法人の設立認証、設立後の法人に対する事業報告書受理、監督・指導業務等の事務を行う。						
	年間の主な事務	・設立認証事務、各種届出・事業報告書等の受理(通年) ・督促事務(上半期1回、下半期1回) ・権限移譲事務交付金申請事務(例年4月)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.49人	0.50人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.01人	0.01人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	3,767	4,105	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	21	26	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	3,788	4,131	—	—		
歳出 物件費計	217	142	—	—	700	20.3%
歳出計	4,005	4,273	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	217	142	—	—	121	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	217	142	—	—	121	
一般財源(物件費充当分のみ)	0	0	—	—	579	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 特定非営利活動法人の設立認証件数	件	0 件	2 件	— 件	— 件

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	—					
指標	—					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					—
	実績					—
	算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	—					
指標	—					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					—
	実績					—
	算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	特定非営利活動法人からの事業報告書の提出や各種申請・届出の処理・受理業務及び監督・指導業務について、円滑かつ的確に行った。
R7年度	特定非営利活動法人からの事業報告書の提出や各種申請・届出の処理・受理業務及び監督・指導業務について、円滑かつ的確に行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	引き続き、特定非営利活動の健全な発展を促進するため、特定非営利活動法人からの事業報告書の提出をはじめ、各種申請・届出の処理・受理業務を円滑に行うとともに、あわせて監督・指導業務を的確に行う。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　729

事務事業名称		協働のまちづくり推進事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　市長公室		課:　市民活動課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します				性質	広報・広聴・協働	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　2016(H28)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市事務決裁規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	市民や市民団体、NPO、事業者など多様な主体の協働によるまちづくりが推進されている。						
	対象者(受益者)	市民や市民団体、NPO、事業者等/協働によるまちづくりの推進による市民サービスを提供される市民						
	現状・課題	市民や市民団体、NPO、事業者など多様な主体が地域課題を共有し、信頼関係を深め、適切な役割分担を行い、協働によるまちづくりを推進する。						
	事業の概要	地域との協働を推進するため、地域住民団体の活動支援を所管とする市民活動課が校区コミュニティ協議会と意見交換を行い、必要に応じて関係課とマッチングするなど、地域の公共的課題の解決に向けて取り組む。 また、行政とNPOとの意見交換会を必要に応じて実施するとともに、職員を対象に、協働に関する研修を実施することで協働のまちづくりを推進する。						
	年間の主な事務	・枚方市コミュニティ連絡協議会の会議等への参加(年20回程度) ・NPOとの意見交換会(年1回) ・協働に関する研修の実施(年1回) ・職員向け「協働ハンドブック」の改訂(年1回)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.80人	0.80人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	6,150	6,567	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	6,150	6,567	—	—		
歳出 物件費計	0	15	—	—	0	0.0%
歳出計	6,150	6,582	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	0	15	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

	年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①	市民活動課職員の枚方市コミュニティ連絡協議会の会議等への参加回数、NPOとの意見交換会の開催回数、協働に関する研修開催回数	回	22 回	21 回	— 回	— 回

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明：職員の協働に対する理解を深める。

指標：枚方市コミュニティ連絡協議会の会議等及びNPOとの意見交換会、協働に関する研修への参加延べ職員数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	650	650	650	650	人
実績	624	839	—	—	人
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：市民や市民団体、NPO、事業者など多様な主体の協働によるまちづくりが推進される。

指標：多様な主体との協働による事業件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	300	300	300	300	件
実績	260	260	—	—	件
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

多様な主体との協働による事業件数の増加を図る。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	動画研修による協働に関する啓発等を進める中で、職員の協働に対する意識を醸成することができた。
R7年度	動画研修による協働に関する啓発等を進める中で、職員の協働に対する意識を醸成することができた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	協働によるまちづくりを一層推進していくため、引き続き取り組みを進めていく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　850

事務事業名称		市民活動課運営事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　市長公室		課:　市民活動課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定(継続実施含む)		
	根拠法令等	枚方市事務決裁規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:　—		
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	課の運営が円滑に進む。						
	対象者(受益者)	市民活動課所属職員						
	現状・課題	課の運営を円滑に図る必要がある。						
	事業の概要	課の運営事務						
	年間の主な事務	・市議会等に対する調整 ・行政評価及び事業計画等に関する事務 ・庁内外への照会・回答処理事務 ・市民活動課の予算・決算・服務・契約に関する事務 ・文書の収受、発送及び整理、保管に関する事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.99人	1.00人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.07人	0.05人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	7,611	8,209	—	—		
		会計年度任用職員	147	128	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		7,758	8,337	—	—		
	物件費計		3	0	—	—	1	0.0%
歳出計			7,761	8,337	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			3	0	—	—	1	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ―					

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: ―

指標: ―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: ―

指標: ―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市民活動課における行政事務及び庶務事務については、円滑かつ適正に執行した。
R7年度	市民活動課における行政事務及び庶務事務については、円滑かつ適正に執行した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	課の運営について円滑かつ適正な処理を行う。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―